
生きてきた貴女と

みほママ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生きてきた貴女と

【ZPDF】

Z0240B

【作者名】

みほママ

【あらすじ】

世の中は生きにくい。そして逝きにくい。すゝく、すつゝく。ただ生きるだけが必要なのかな?

(前書き)

苦しそうな病気。
鬱病。自分しか分からぬ。自分でも分からぬ。
そんな苦しみでただ、今を生きている。

いつから笑えなくなつた？いつから死にたいと思つよつになつてた？
大切な子供までも一緒に…

本当に本当に自分がこの世から消えて失くなりそうだった。

苦しくもなく

体がふわふわして、誰かが泣きながら自分に何か話し掛けてる…

目を覚ましたら病院で点滴に繋がれていた。

血がついたTシャツ

針を抜こうとしたら誰かに止められた。

お母さんの手だった。

家族みんながいた。誰かに手も握られ、涙・鼻水・よだれ…全部出てとまらなかつた。

『…リレーリ?…生きてるの?…まなかは?』

ペンライトで瞳孔を見られ…
(もうすぐ死ぬの?)
と思った。

前田には

わざと睡眠薬を飲み、車に子供を乗せ、峠のほうに走って行き事故
った記憶はあった。
それから自分は…。

記憶がない

そして今田の朝??

大量の精神安定剤と睡眠薬を飲みほして、左腕を切った…と。

どうして生きてるの?
どうして助かったの?
誰が助けたの?

朦朧もうりゆうとする自分がいて
今何を話しているのか
ちやんと話せているのか分からな

そしてまた眠り

精神科閉鎖病棟へ入院。

『ちゃんと仕事しなよ

『笑顔で』

分かつてゐる。

それが仕事だから…

でもね、もう疲れすぎて、つくり笑いしか出来なくなつてたよ。

元気な時は確かにあつた、まわりから見れば。

本当はすゞしきるんな事考えて話をするにも話題が出てこなくて…そこでもまた一人で焦つて相手の顔色うかがつて…

人の無表情つてドキッとする。

どうしようもない

辛いだけなんだよ。

でも相手が笑つていってくれればそれがチカラになる

なんで生きなきやいけない？

子供がいるから？

親が悲しむから？

まわりからの目？

そう考えれば逝きたくはない
でも生きたくもない

世渡り上手つているよね。見ると腹立つ

『強くなれ！』

もつと強くなれって？

いつも隠れて声こらして泣いて、鬱病になつて、リスクして、現実逃避して

それでもまだいろんな事にたえて生きようとしてきたのに。

頑張りすぎて心が死んでる

自分を切つたらダメ？

そんなに悪い？

左腕は心の傷を表してるよ

心が泣いてる時は、左腕も血流して泣いてる。

傷跡決して深くはないから、薄くなつたと思つたらいつの間にかまた前より増えて…

でも辛かつたら逃げなきやいけない。

自分でおさえなきやいけない。

逃げないと苦しくて苦しくて

部屋に剃刀がなくなつていれば、気違ひのようになつてベットの下・脇・棚の上など夢中で探す。

…自分でも怖いくらい…

そして、切れてやつと安心するの。

薬に頼つて何もかも忘れて助けられるの

悩みなんて他人に言つても尽きないし、解つてもうあつたつて無理。

話すだけで楽になれるなんて嘘。

何か話した後の、その人の困つた顔が見たくない
嫌がられるのが怖い

でも、相談できないのは辛い。解つてもうえないのでもつと辛い。

今も入院中

何も考へてないのに涙がでてくる。
食欲がない。

睡眠薬を飲んでも夜中2時か3時には目が覚める。とにかくダ

ルイ

歩くだけで疲れる。

出来れば一人になりたい 雑音だけでイライラ

集中力がない。

考えがまとまらない。

何に対しても不安。

気分が落ちる…

などなど症状は言い切れないで、自分ではコントロールできない感情で自分が自分ではないような気がする

精神的な面だけでなく、身体面でも症状は出る。

どうか頑張つてこれからも生きるから、リスクは『やめろ』と、とめないで欲しい。

生きるためにするものだから。

人に言えなくて辛いからするものだから。

それをとめたら『今度こそ死ね』と言われてるようなものだよ。

精神の病、他人には見えないから、實際にならないと解つてもられない。

こんな気持ちは誰にも直接は言えないから此処で解つて欲しい。

傷付けることを許してもらえないから、必ずまた死のうとすると思う。

発散する場がないんだから。自分が生きよつとするチカラでもあるからー

気づいてほしい

伝えたいのに伝えられないから

耳はふさがった状態で聞こえにくく、『すべての雑音消してほしい』
看護婦さんに言つたら、『自分で克服しなさい』だって。

そりやそうだよね…

人と話したり、ずっと考えたりすると気持ち悪くなつてきて、手足
が震えてくる
人がこわい
自分のこともこわい

友達が『頼つてくれるのがうれしい』って言つてくれた時、どんな
に安心したか：
言葉にできない
ありがとう
まだうちらの約束残つてたね。

今生きてるなら、こうして助かつたなら
若いうちに辛い事も悲しい事も経験したほうがいいんだと前向きに
考えるようにした。

辛い経験は人を輝かせる。

『男なんて性欲の固まり
女なんて利用されて終わ
もう裏切られる事
また傷つくつて分かる』

なんて考えた。

でも違つたよ。

信じれる人はちゃんといた
距離も遠くて会えないけど待つてくれた。
この人も自分と同じ。

いつもバカだけど、いつも笑つてた。

似たような過去を持ち、それでも生きてる。

今までたくさんの男にも裏切られてきたけど、あなたには出逢つてよかつた。

「さよなら」

も言わずに消えようとした女だけど、

鬱病で難しい女だけど、こんなによければこれからはまなかと合わせて一人のお母さんになってあげる。たいした事はできないけど…

会えないけど、寂しい想いはもうさせないよ。

会えないけど、あなたのバカさと元気で頑張つていけそうです。

神様いるなら大切なひとをもう奪わないでください。
一日でも早くあなたに会いたい。

まなかが生まれて来た事が悪かったんじゃないんだよ。

あの時怖かったね。びっくりしたね

ママがまなかを守れなくて弱い人だつたんだよ。

もっと強くならなきやね

今度こそ絶対幸せにしてあげる

もじれを読んで、同情なりばすぐ離れてください。もう嫌でしょ。

疲れるでしょ。

あなた達もおかしくなってしまひ。

あなた達までも壊してしまひ。

同情なんていらない。

愛が欲しかつただけ。

今から飛び出して逝こひか
あの綺麗な空のもとへ

疲れたら星になればいい。。。。

(後書き)

本当は自分の感情を失つただの人間。
精神病の人が自殺するの
ではないと思う。世間の人が無関心で、
冷たい心で、自殺に追い込
んでる：

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0240b/>

生きてきた貴女と

2010年10月19日11時41分発行